

# 事務事業評価票

番号	枝番号	事務事業名 青少年体験学習事業	部名 教育委員会	課名 青少年センター	所属長名 岡本 悟
基本事項	基本政策	03 ところ豊かな人が育ち、いきいきと活躍できるまち	財務科目	会計	01 一般会計
	政策	01 人間力を培う教育環境の充実		款	10 教育費
	施策	03 青少年の健全育成活動の推進		項目	05 社会教育費
				目	02 青少年センター費
<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度		事業開始年度	不明年度	完了予定年度	未定年度
<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時					

<b>事業の対象(誰に対して・何に対して)</b> 各町子ども会指導者 ガキ大将教室生及び指導者 市内在住の高校生	<b>事業の目的(どういう状態にしたいのか)</b> 子どもの手による子ども会活動の実施と、安全で円滑な子ども会運営、自然体験をととして、子ども達に豊かな心を培う。 高校生ボランティアの育成と大人としての基本を身につけてもらう。
<b>事業の内容(目的達成のための手段・方法)</b>	
子ども会指導者を対象とした学習会の実施。 月1回の野外体験教室の実施。 ボランティア活動をととして、青少年の健全育成を図る。	
<b>事業の概要</b> 補助・単独 <input type="checkbox"/> 国・県の補助金有り <input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 義務実施事業 根拠法令要綱等 <input type="checkbox"/> 努力義務実施事業 根拠法令要綱等 <input checked="" type="checkbox"/> 任意実施事業 根拠条例等 <input type="checkbox"/> 市単費上乘せ(またはの場合) 根拠条例等	
正規職員が関与すべき法的義務性 <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (該当業務: ) 法令名・根拠条文	
<b>実施形態</b> <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担金 <input type="checkbox"/> その他( ) 委託の場合 <input type="checkbox"/> 入札 <input checked="" type="checkbox"/> 随意契約(契約先: 市内小学校)	

## 総合計画・行動計画 施策シート

### 優先度

A  B  C

展開方針 (年度別の事業内容)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	以降
	総事業費	千円	千円	千円	千円
平成22年度の実施内容・成果			平成22年度の実施内容・計画どおり実施できなかった理由		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進んでいる。 <input type="checkbox"/> おおむね計画どおり進んでいる。 <input type="checkbox"/> 着手しているが、計画よりも遅れている <input type="checkbox"/> 計画どおり着手していない。 <input type="checkbox"/> 完了・達成(計画事業の終了)					
確認項目			市長指示事項等		
<input type="checkbox"/> 総合計画対象事業 <input type="checkbox"/> 市長公約・懸案事項 <input type="checkbox"/> 議会確認事項					
企画政策課 意見					
			行動計画掲載 <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C		

		単位	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
事務事業データ	事業費(予算額または見込額) (A')	千円	614	657	371	360	358
	特定財源		105	105	105	105	105
	一般財源		509	552	266	255	253
	事業費(決算額) (A)		510	503	231	243	
	特定財源		101	101	91	98	
	一般財源		409	402	140	145	
一般職員所要人員 (B)	人	0.31	0.31	0.31	0.31		
一般人件費[平均給与×(B)] (C)	千円	2,454	2,454	2,454	2,454		
総コスト[(A)+(C)] (D)	千円	2,964	2,957	2,685	2,697		
受益者負担額 (E)	千円	102	102	91	98		
受益者負担率[(E)/(D)] (F)	%	3.4%	3.4%	3.4%	3.6%		

【1次評価】

評価実施:平成22年度

		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
活動指標	名称	開催回数	目標値	23回	23回	23回	
	実績値	23回	23回	25回	25回	23回	
	説明	指導者講習会及びガキ大将教室開催回数	単価	116,676円	116,386円	107,400円	107,880円
	達成度		100%	109%	108%		
(目標)	名称	設置数	目標値		-	-	
	実績値	8ヶ所	8ヶ所				
	説明	学童農園設置数	単価	35,000円	35,000円		
	達成度						
成果指標	名称	参加者数	目標値	450人	450人	450人	
	実績値	331人	431人	441人	497人	450人	
	説明	指導者講習会及びガキ大将教室参加者数	単価	8,107円	6,210円	6,088円	5,426円
	達成度		96%	98%	110%		
(目標)	名称	ボランティア数	目標値	20人	20人	20人	
	実績値	20人	20人	19人	13人	20人	
	説明	高校生ボランティア「イキリキ」、ガキ大将教室ボランティア数	単価	134,177円	133,844円	141,315円	207,461円
	達成度		100%	95%	65%		
評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性	1	実施主体の妥当性	3	
	直接のサービスの相手方	2	受益者負担の適切さ	4	市民ニーズの把握	5	
総合評価	評価結果	判断理由	指導者講習会・ガキ大将教室・高校生ボランティア「イキリキ」については毎年内容を検討しているが、ガキ大将教室・高校生ボランティア「イキリキ」については教室生及びスタッフ数が横ばいか減少傾向にあり、その対策が必要である。なお、「イキリキ」については各高校においても同様のボランティア活動を行う環境が整ってきており、「イキリキ」でしか出来ない活動が減ってきている現状がある。				
	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	改善策	指導者講習会は子ども会役員の研修、ガキ大将教室は小学5・6年生の自然体験学習、高校生ボランティア「イキリキ」は高齢者福祉施設の訪問・各種行事の手伝いを行っており、青少年の健全育成に寄与していると考えている。しかし、スタッフ・参加者の拡充については、広報による募集、口コミ等により行っているが、中々増えない状況であるので、その存在意義も含めて内容等を検討し、PR方法等について考えていく。				

【2次評価】

評価実施:平成22年度

		2	1	3	3	
評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	2	事業の必要性	1	実施主体の妥当性	3
	直接のサービスの相手方	1	受益者負担の適切さ	3	市民ニーズの把握	3
総合評価	評価結果	判断理由	高校生ボランティア「イキリキ」の活動については、青少年の健全育成を目的にしているものの、その参加者が10名以下と少なく、活動回数も少ないことから、その必要性について疑問を感じざるを得ない。また、「ガキ大将教室」については、受益者負担を設けているが、スキー教室では市のバスも活用していることから、必ずしも適正な受益者負担とはいえない。			
	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	改善策	高校生ボランティア「イキリキ」の活動については、他のボランティア活動との統廃合も含め、検討が必要である。「ガキ大将教室」の野外活動については、受益者負担も含めて、活動毎に課題を検証し評価をしていくことで活動方法を改善検証する必要がある。それぞれが特定少数限定事業であることから、参加者募集・事業PRの方法も再検討し、事業の存在意義も含めて、その必要性について検討を行う必要がある。			

【3次評価】

総合評価	評価結果	判断理由	
	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	改善策	